

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第25週の発生動向

□ トピックス

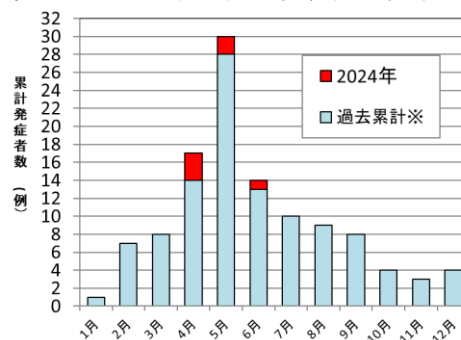
・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

（全数報告の感染症）の報告が延岡保健所管内からあった。患者は70歳代の男性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計115例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	26	44	30	6

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2023年まで

□ 全数報告の感染症（25週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 3 例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群症 1 例、レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：梅毒 1 例、播種性クリプトコックス症 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	肺結核	なし
		都城	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		高千穂	60歳代	男	肺結核	咳、痰
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	70歳代	男	—	頭痛、神経症状、血小板減少、白血球減少
	レジオネラ症	宮崎市	80歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎
5類	梅毒	都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	丘疹性梅毒疹
	播種性クリプトコックス症	日南	70歳代	男	—	呼吸器症状

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,284 人(定点当たり 31.3)で、前週比 113%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及び手足口病で、減少した疾患は感染性胃腸炎だった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 429 人(7.4)で、前週比 128%と増加した。日南(13.6)、都城(9.9)、中央(9.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が約 3 割だった。

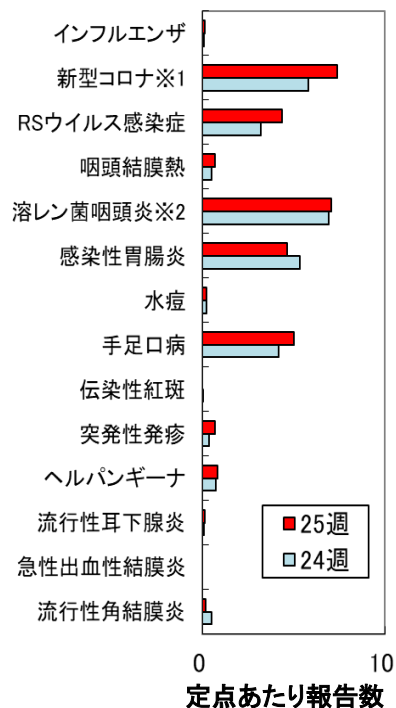
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 253 人(7.0)で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約 5 倍であった。宮崎市(10.3)、高鍋(8.3)、中央(8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

【手足口病】

報告数は 180 人(5.0)で、前週比 120%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約 2.9 倍であった。延岡(13.8)、小林(7.3)、宮崎市(4.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 9 割を占めた。 * 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

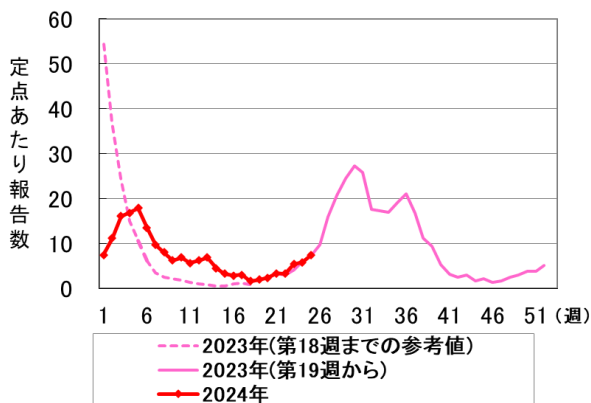
《前週との比較》



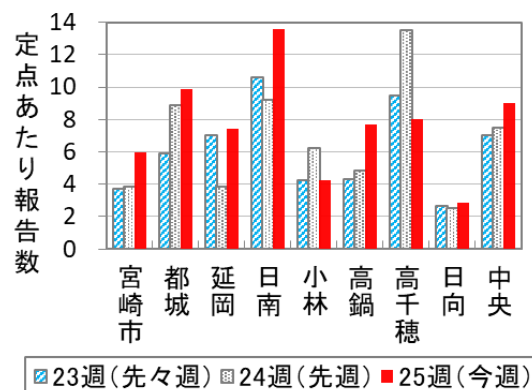
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

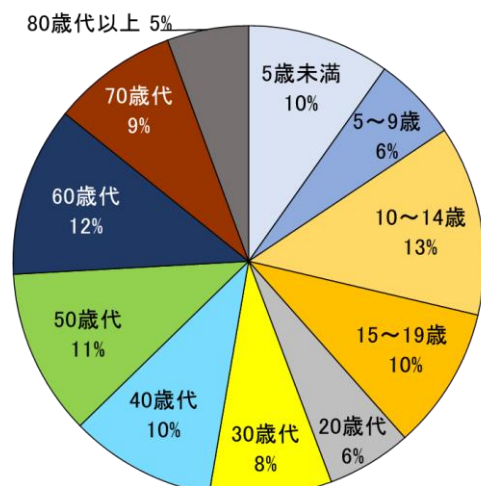
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)

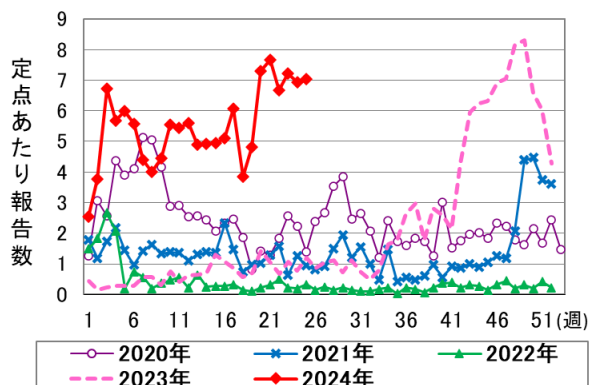


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第 25 週)

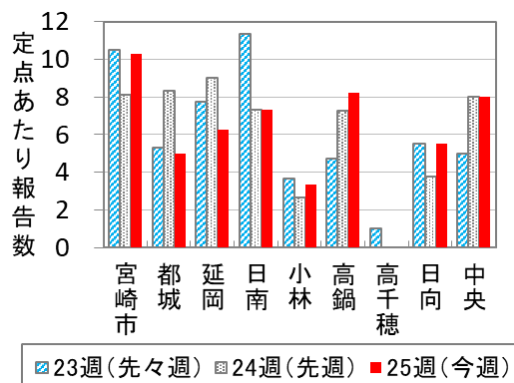


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

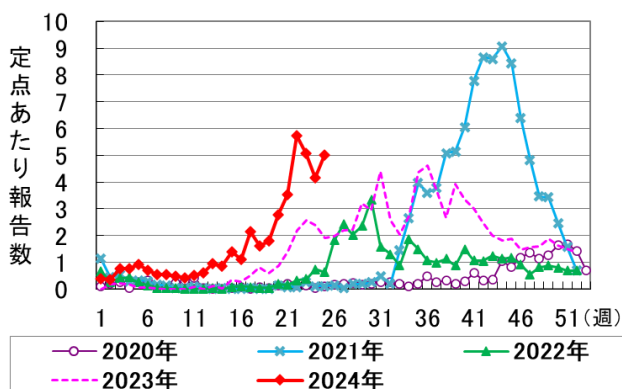
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



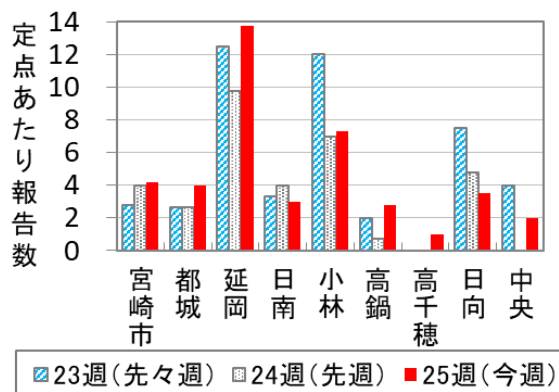
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：延岡保健所より1例報告があり、年齢は0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.3)
都城	なし
延岡	手足口病(13.8)
日南	なし
小林	手足口病(7.3)
高鍋	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)
高千穂	なし
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年6月24日までに検出）

★細菌 報告なし

★ウイルス 報告なし

🇯🇵 全国 2024 年第 24 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	248 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	60 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	2 例	回帰熱	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	8 例	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱	12 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	70 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	31 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	31 例	後天性免疫不全症候群	18 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	46 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	190 例	播種性クリプトコックス症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	5 例
	百日咳	54 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 20,561 人(4.2)で前週比 104%とほぼ横ばいであった。沖縄県(18.1)、鹿児島県(8.6)、佐賀県(7.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

手足口病の報告数は 14,863 人(4.7)で前週比 123%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約 4.4 倍であった。三重県(10.9)、石川県(10.6)、鹿児島県(10.4)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

疾病名		第24週	第25週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3	7	2					1		4	
	定点当り	0.05	0.12	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00	0.67	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	335	429	96	99	52	68	17	46	16	17	18
	定点当り	5.78	7.40	6.00	9.90	7.43	13.60	4.25	7.67	8.00	2.83	9.00
RSウイルス感染症	報告数	114	157	76	23	16	10		12		19	1
	定点当り	3.17	4.36	7.60	3.83	4.00	3.33	0.00	3.00	0.00	4.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	17	24	8	4	3			6	1	1	1
	定点当り	0.47	0.67	0.80	0.67	0.75	0.00	0.00	1.50	1.00	0.25	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	249	253	103	30	25	22	10	33		22	8
	定点当り	6.92	7.03	10.30	5.00	6.25	7.33	3.33	8.25	0.00	5.50	8.00
感染性胃腸炎	報告数	192	167	36	44	9	14	28	11	5	14	6
	定点当り	5.33	4.64	3.60	7.33	2.25	4.67	9.33	2.75	5.00	3.50	6.00
水痘	報告数	8	7	1	2	3	1					
	定点当り	0.22	0.19	0.10	0.33	0.75	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	150	180	42	24	55	9	22	11	1	14	2
	定点当り	4.17	5.00	4.20	4.00	13.75	3.00	7.33	2.75	1.00	3.50	2.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	25	15	6	1		1	1			1
	定点当り	0.33	0.69	1.50	1.00	0.25	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	26	29	3	8	13		3			2	
	定点当り	0.72	0.81	0.30	1.33	3.25	0.00	1.00	0.00	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	4		1	1	1					1
	定点当り	0.08	0.11	0.00	0.17	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	1		1							
	定点当り	0.50	0.17	0.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週 ～25週 保健所受理分)

2類感染症	結核	44例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	2例(1)	百日咳	37例
			重症熱性血小板減少症候群	6例(1)
			レジオネラ症	7例(1)
			クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
			梅毒	79例(1)

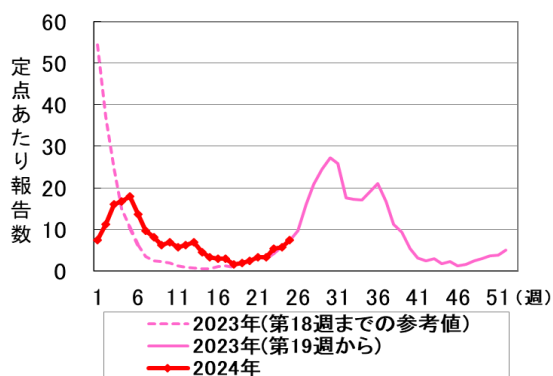
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 25 週、全国第 24 週（再掲）》

□ 県内第 25 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

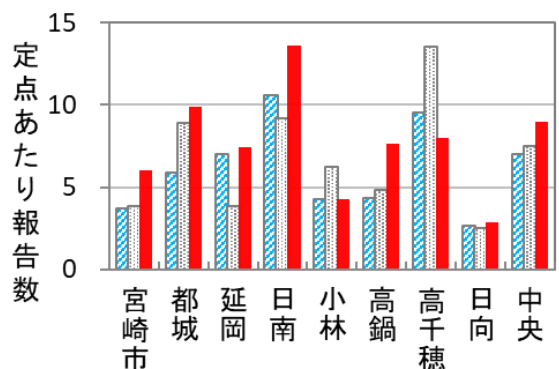
6 月 17 日～6 月 23 日までの 1 週間で 429 人(7.4)の報告があった。前週比 128%と増加し、日南(13.6)、都城(9.9)、中央(9.0)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

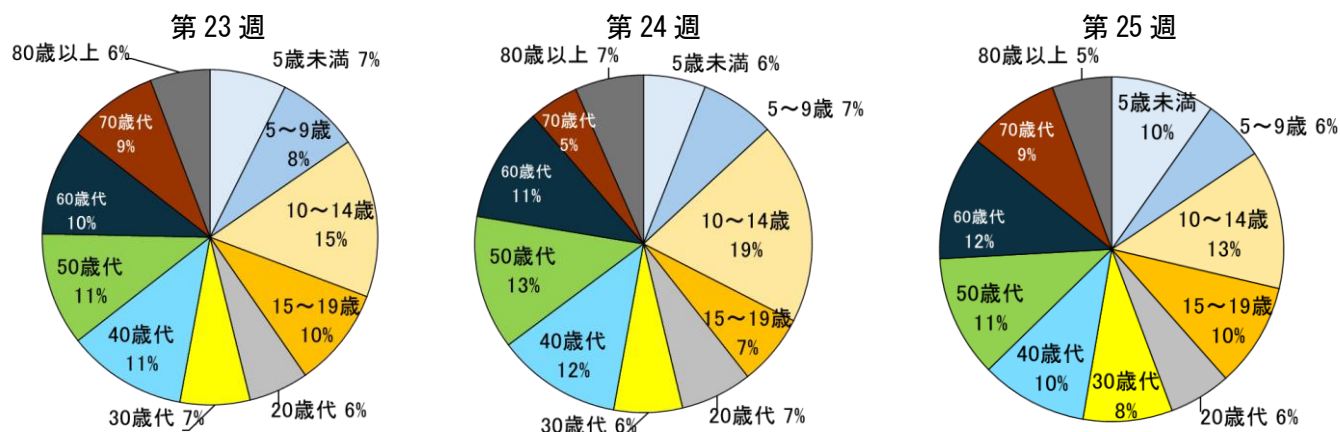


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

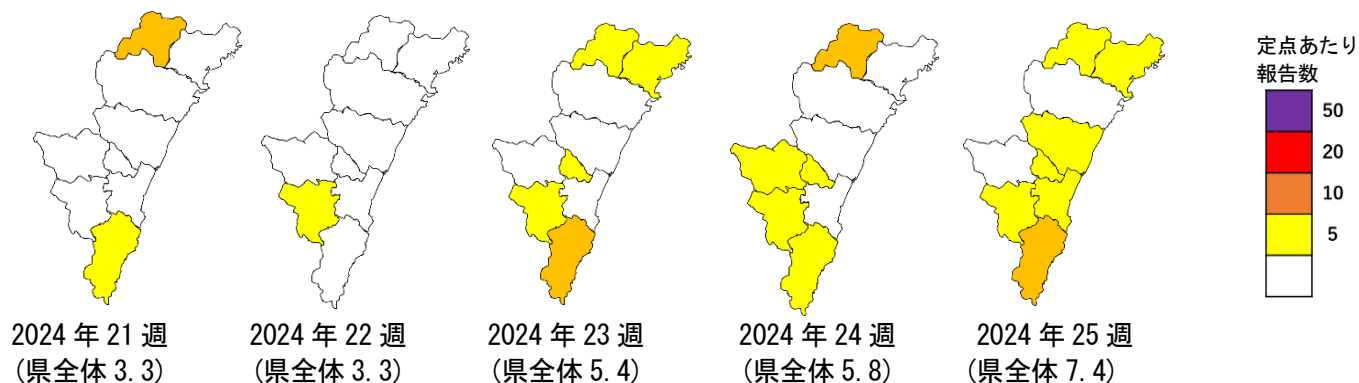
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 21 週～2024 年第 25 週



□ 全国第 24 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

6 月 10 日～6 月 16 日までの 1 週間で 20,561 人(4.2)の報告があった。前週比 104%とほぼ横ばいで、沖縄県(18.1)、鹿児島県(8.6)、佐賀県(7.3)からの報告が多かった。年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。